

地域のみんなで理解を深めよう

心身障害児を知る集い

「第3回心身障害児を知る集い」が今月四日、中央公民館で開かれました。大会は午前中が五つの分科会にわかれてのテーマ別ディスカッション、午後はそのまとめとして全体会が開かれました。

心身障害児をとりまく多くの問題は、障害児をもつ家族だけの問題ではなく、地域全体の共通の問題として、今後一層の理解を深め合うことが確認されました。



心身障害児を知る集いは、大館市ひまわり親の会（会長 古沢三樹夫さん）を中心に、昭和五十八年に始められたもので今年で三回目。今回は教育機関の代表、一般市民、そして障害児をもつ父兄らおよそ二百名が参加し、これから障害児教育などを熱心に話し合いました。

一口に障害児と言っても年齢、症状等によって家族の抱えている悩みも千差万別。そこで午前中は各テーマごとに分科会がもたれました。分科会は、初め身障児を持つ父兄から体験をまじえた提言が出され、そのあと助言者を加えての質疑応答の形で進められました。

第一、二分科会では特に「教育現場への要望」と、障害児への理解が話されました。また第三分科会では比内養護学校高等部への入学が、いわゆる「狭き門」になっていることが指摘されました。第四分科会では、障害児に対する学校、地域を含めた全体的な理解と、やりを望む声が出され、その中で、ふだん一般の人からの思わぬ中傷

を受けた事実など、ショッキングな事例発表もありました。第五分科会では障害児をもつ親の自立も大切と、現在の福祉行政、教育現場への理解の訴えとともに、自助努力を促す声が出ました。さらにいづれの分科会でも、障害児の現状について余りに一般に知られていないことが多すぎるとして、もっと市民へのビジュアル活動を活発にし、正しい認識をもってもらうことが先決との意見が出されました。今回は前回と比べ一般市民の参加もわずかながら増えてきており、さらに地域の大きな輪として広がっていくことが望まれる大会でした。



▲市長から古里の近況報告

今月一日、東京上野の「まつもと」で、市長らと市内出身出稼者の懇談会が開かれました。この日の参加者はおよそ六十名。市長から激励と古里の近況報告が

東京で出稼者懇談会

あった後、参加者から就労地での悩みや残された家族へのことづけなどが出されました。

大館市の出稼者はここ数年七百八人前後と横ばい状態。その約八割の方が神奈川、東京をはじめとする関東地方へ出ています。また、年齢的には四十歳から六十歳未満の働き盛りが三分の二を占め、そのほとんどの方が建設業に従事しています。

今冬は雪も多く、出稼ぎされている方も、残されたご家族も大変でしょうが、どうぞお体を大切にがんばってください。

雪との奮闘 柄沢町内会

今年の冬将軍は手ごわいぞ。昭和49年以来という豪雪に、今年はこの家庭も雪降し、除雪に大難儀です。中には男手が足りず思うように除雪できない家庭もあります。そこで柄沢町内会では、地区民総出で雪かたづけをしようにと、六日夕刻から通学、通勤路を中心とする除雪にくりだしました。雪との戦いもあとわずか。雪降しなどにはくれぐれもご注意を。



市県民税の 申告相談日

市置民税の申告相談が行われています。必要書類を持参のうえ、正しい申告をしてください。（3月11日以降の日程は次号でお知らせします）

期 日	受付相談区域	3/1出		3(月)		4(火)		5(水)		6(木)		7(金)		8(土)		10(月)		◆問合せ・市役所税務課民税保険税係 ☎内線2301231	◆申告時間・9時半～12時、13時～16時							
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後									
		市民文化会館(展示室)																								
		上四羽出、下四羽出	館、比内前田、大子内	下村、本宮	小坪川原、下川原	茂内屋敷、籠谷、石淵、二ツ屋	芋ヶ谷、水沢	小雪沢、大明神、新沢	赤沢、黒沢	御成町二丁目、一丁目一區	御成町市営住宅	中道、栄町、清水町、東成町	御成町一丁目二區、四區	昭和町、神明町、南神明町、東新、田町	根下戸、舟場、天神緑町	八坂町	長倉町、愛宕町、古川町	大下町、鉄砲場、曙町	大正町、御坂新富町、寺町、大町	常盤木町、中道一區、仲見世	新町、中町、馬喰町、新地、南町、田代町一、二區	餅田、餅田団地	片山、片山アパート	根下戸新町	美園町、一中通り	住吉町、小館町

◆申告時間・9時半～12時、13時～16時
◆問合せ・市役所税務課民税保険係
☎内線2301231